

2020年11月11日
九州電力株式会社

長崎県東彼杵町における「Qでん にぎわい創業プロジェクト」の事業化を決定しました
— 事業主体となる「一般社団法人 九電にぎわい創業カンパニー」を設立 —

当社は、地域の皆さまと協働して持続可能なビジネスモデルを構築し、地域の課題解決を図る「Qでん にぎわい創業プロジェクト」を2019年から開始し、長崎県東彼杵町において地域の協業先団体である「一般社団法人 東彼杵ひとこともの公社」（代表理事：森一峻、以下「東彼杵ひとこともの公社」）等とともにビジネスプランの検討を行ってまいりました。

（2019年12月13日お知らせ済）

このたび、地域の特産品を使った商品開発などを通じた地場産業の活性化、及び交流人口拡大・関係人口^{*}創出に係るビジネスプランが具体化したことから、事業主体となる「一般社団法人 九電にぎわい創業カンパニー」（以下「九電にぎわい創業カンパニー」）を設立し、事業開始に向けた準備を進めることを決定しました。

※ 関係人口：観光客（交流人口）でも移住者（定住人口）でもない、地域と多様に関わる人々のこと

今後、商品設計や設備投資を行い、九電にぎわい創業カンパニーから東彼杵ひとこともの公社に事業運営を委託して、第一弾事業となる物産品販売を2021年2月頃から開始するとともに、引き続き地域の皆さまと協働し、更なる交流人口拡大・関係人口創出に繋がる事業を展開してまいります。

【長崎県東彼杵町におけるビジネスプランの概要】

- 交流人口の拡大に向けた物産品販売事業（2021年2月頃開始）
 - ・ 東彼杵町の基幹産業であるお茶と一緒に訴求できる新たな「お茶うけ菓子」を開発し、移動型店舗や道の駅等で販売
- 関係人口・定住人口の創出に向けた交流拠点整備事業（2021年秋頃開始）
 - ・ 潜在移住者と地元の人が集う交流拠点を整備するとともに、創業希望者向けのコワーキングスペースやシェアキッチン等を設置

【事業主体となる一般社団法人の概要】

商号： 一般社団法人 九電にぎわい創業カンパニー（2020年10月設立）
代表理事： 田中 徹（九州電力株式会社 ビジネスソリューション統括本部 地域共生本部（総務）部長）
主な役割： 資金調達、設備投資、事業プロモーション等

当社は、「九州の発展なくして、九電グループの発展なし」との考えのもと、地域の声をしっかりとお聴きし、地域の皆さまと一緒に知恵を絞り、汗をかくことで、「九州から未来を創る九電グループ」の実現を目指してまいります。

以上



「快適で、そして環境にやさしい」
そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。
それが、私たち九電グループの思いです。